



オレンジリボン運動
「オレンジリボン運動」は
子ども虐待防止の
シンボルマークです。

大切な子どもを守るために

知っておこう！子ども虐待



身体的虐待

殴る、蹴る、叩く、投げ落とす、激しく揺さぶる、
やけどの負わせる、溺れさせるなど

性的虐待

子どもへの性的行為、性的行為を見せる、
ポルノグラフィの被写体にするなど

ネグレクト

家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔に
する、自動車の中に放置する、重い病気になって
も病院に連れて行かないなど

心理的虐待

言葉による脅し、無視、きょうだい間での差別的
扱い、子どもの目の前で家族に対して暴力をふる
う(DV)など

乳幼児揺さぶられ症候群 —赤ちゃんを激しく揺さぶらないで—

おむつを替えても、授乳をしても、抱っこをしても・・・何をやっても泣きやまないことが
赤ちゃんにはあります。そんな時、赤ちゃんを激しく揺さぶると、頭(脳や網膜)に損傷を
受け、重い障害が残ったり、命を落としてしまうこともあります。

どうしても泣きやまない時は赤ちゃんを安全な場所に寝かせ、その場を少しの間でも離れ、
まずは自分をリラックスさせましょう。

詳しくはこちら



子どもを健やかに育むために —愛の鞭ゼロ作戦—

子育てにおいて、しつけと称して、叩いたり怒鳴ったりすることは、子どもの成長の助けにならないばかりか、悪影響を及ぼしてしまう可能性があります。以下のポイントを心がけながら、子どもに向き合いましょう。

- ①子育てに体罰や暴言を使わない
- ②子どもが親に恐怖を持つとSOSを伝えられない
- ③爆発寸前のイライラをクールダウン
- ④親自身がSOSを出そう
- ⑤子どもの気持ちと行動を分けて考え、育ちを応援

詳しくはこちら



虐待を受けたと思われる
子どもがいたら…

ご自身が出産や
子育てで悩んだら…

子育てに悩む
親がいたら…

児童相談所や市区町村の相談窓口にご連絡ください。

あなたの1本の電話で救われる親子がいます。

●連絡・相談は匿名でもできます。●連絡者や連絡内容に関する秘密は守られます。

いちはやく
189

児童相談所全国
共通3桁ダイヤル

お住まいの地域の児童相談所につながります。
※一部のIP電話からはつながりません。通話料はかかります。

西区健康福祉課
こども支援係
025-264-7343
※月～金 8:30～17:30

しあわせな時間 の過ごし方



子育て中の毎日は、子どもの事や仕事や家事に追われてバタバタイライラ。

「自分の時間ってどこにある？」ちょっと視点を変えてワタシ時間を過ごしてみる人も。

イライラ時間をしあわせな時間にチェンジ！

パパ編



たまには一人で楽しむ「読書」

家族と一緒にいる時もリラックスできるけど、
たまには一人で好きなことに集中したい!!
近所のカフェへ出かけて、コーヒーを飲みながら
本を読んでいる時間が贅沢で
自分へのご褒美として
利用しています。



早朝の趣味で、気分スッキリ

日々の仕事の疲れをリセットするために、休日は
妻子を起こさないように早起きをして友人と海へ!
早朝の海は静かで、着いてすぐに深呼吸すると
無になります。何も考えずに波に身をゆだねて
サーフィンをすると頭も体もスッキリ。更に早
起きをして波を求めて太平洋側にも遠出します。
サーフィンをすると、心も体も良い波に乗れるの
で帰宅後も子どもと楽しくイッパイ遊べます。



子どもと農園体験でリフレッシュ

長男(3歳)と二人でぶどう狩り。たわわに実ったぶどうを、パパ
に抱っこしてもらって自分の手で収穫。自分で取った実を食べ
て「美味しい！」とご満悦。今年は自分で皮を剥いて、種を出
せるようになりました。芋掘りでは、掘ることよりも何故か袋
に入れる方に執着し、一生懸命芋掘りしたのはパパ。自然に触れて、子どもの
笑顔でリフレッシュ。お留守番のママと妹にお土産を持って帰ります。